

大会長講演

PL1 患者を主体にした症状マネジメントの探求	6月21日(金)8:15-8:45 第2会場
-----------------------------------	---------------------------

座長：細川 豊史 (洛和会 丸太町病院)

PL1 患者を主体にした症状マネジメントの探求
荒尾 晴恵 (大阪大学大学院 医学系研究科)

特別講演

SL1 緩和ケアの両輪としてのArt & Science 今後に期待すること	6月21日(金)10:45-11:45 第2会場
--	-----------------------------

座長：木澤 義之 (神戸大学附属病院 緩和支援診療科)

SL1 緩和ケアの両輪としてのArt & Science 今後に期待すること
柏木 哲夫 (淀川キリスト教病院)

SL2 ケアにおけるart	6月22日(土)10:15-11:15 第1会場
-------------------------	-----------------------------


座長：濱口 恵子 (新東京病院)

SL2 ケアにおけるart
石垣 靖子

教育講演

EL1 The implementation of patient-reported outcomes monitoring: How to improve palliative care systematically?	6月21日(金)9:00-10:00 第9会場
--	----------------------------

座長：高木 雄亮 (帝京大学医学部附属病院 緩和ケア内科)

EL1  The implementation of patient-reported outcomes monitoring: How to improve palliative care systematically?
Arif Kamal (Associate Professor of Medicine, Business Administration and Population Health, Duke University)

EL2 呼吸困難と不安について考える～不安の評価からリラクゼーションまで～	6月21日(金)10:45-11:45 第3会場
---	-----------------------------

座長：渡邊 紘章 (小牧市民病院 緩和ケア科)

EL2-1 呼吸困難と不安の評価と治療
松田 能宣 (国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 心療内科/支持・緩和療法チーム)

EL2-2 呼吸困難感と不安に対する非薬物療法的アプローチ～心理士の立場から～
栗原 幸江 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科、認定NPO法人マジーズ東京)

EL3 緩和ケアにおけるPatient Reported Outcomeの臨床活用	6月21日(金)10:45-11:45 第6会場
---	-----------------------------

座長：前田 一石 (ガラシア病院 ホスピス)

EL3-1 PRO (Patient Reported Outcome、患者報告アウトカム)とは何か？
山口 拓洋 (東北大学大学院 医学系研究科、東北大学 病院臨床試験データセンター)

EL3-2 緩和ケアにおけるPatient Reported Outcomeの臨床活用
堀江 良樹 (聖マリアンナ医科大学 腫瘍内科)

 マークは同時通訳です。

EL4 緩和医療における高精度放射線治療の役割	6月21日(金)10:45-11:45 第8会場
-----------------------------------	-----------------------------

座長：角田 貴代美 (静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科)

EL4 緩和医療における高精度放射線治療の役割
中村 直樹 (国立がん研究センター東病院 放射線治療科)

EL5 【答えは「あなたの語る体験」の中にある】カードを使ったリフレクションプログラムの実践から多職種連携の強化を考える	6月21日(金)14:00-15:00 第4会場
--	-----------------------------

座長：中山 祐紀子 (医療法人社団杏順会 越川病院)

EL5 【答えは「あなたの語る体験」の中にある】カードを使ったリフレクションプログラムの実践から多職種連携の強化を考える
飯岡 由紀子 (埼玉県立大学)


EL6 痒みと痛みの脳内認知機構	6月21日(金)15:10-16:10 第4会場
----------------------------	-----------------------------

座長：細川 豊史 (洛和会 丸太町病院)

EL6 痒みと痛みの脳内認知機構
柿木 隆介 (自然科学研究機構 生理学研究所)

EL7 Early Integration of Palliative Care for Serious Illness	6月21日(金)15:45-16:45 第9会場
--	-----------------------------

座長：田村 恵子 (京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻)

EL7  Early Integration of Palliative Care for Serious Illness
Betty Ferrell (Professor and Director Nursing Research and Education City of Hope National Medical Center)

EL8 認知症の人の自尊感情と自己効力感を高める共感的態度	6月21日(金)16:20-17:20 第4会場
---	-----------------------------

座長：佐藤 典子 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)

EL8 認知症の人の自尊感情と自己効力感を高める共感的態度
繁田 雅弘 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座)

EL9 緩和ケアにおける薬剤師活用術	6月22日(土)10:15-11:15 第2会場
------------------------------	-----------------------------

座長：村井 扶 (株式会社由川メディカルサービス ソーク薬局)

EL9-1 緩和ケアにおける薬剤師の役割を知り、「薬剤師活用術」を考える
笠原 庸子 (県立広島病院 薬剤科)

EL9-2 緩和ケアと在宅医療において薬剤師に求める役割
新城 拓也 (しんじょう医院、神戸市立医療センター中央市民病院)

EL10 発熱を巡る不思議 感染症?腫瘍熱??それとも???	6月22日(土)10:15-11:15 第3会場
--	-----------------------------

座長：本間 英之 (新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア科)

EL10-1 発熱患者、不明熱患者への対応について
矢部 正浩 (新潟市民病院 総合診療内科)

EL10-2 発熱をめぐる不思議～緩和ケア医の視点～
小田切 拓也 (小牧市民病院 緩和ケア科)

 マークは同時通訳です。

EL11 痛みと扁桃体 基礎研究からの提言	6月22日(土)10:15-11:15 第5会場
---------------------------------	-----------------------------

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部 麻酔科学）

EL11 痛みと扁桃体 基礎研究からの提言
加藤 総夫（東京慈恵会医科大学・痛み脳科学センター）

EL12 緩和ケアにおけるAI、ビッグデータの可能性	6月22日(土)10:15-11:15 第7会場
--------------------------------------	-----------------------------

座長：大谷 弘行（九州がんセンター 緩和ケアセンター）

EL12 緩和ケアにおけるAI、ビッグデータの可能性
佐藤 一樹（名古屋大学大学院 医学系研究科 看護学専攻）

EL13 がん性疼痛ではオピオイド耐性、痛覚過敏は存在するか？	6月22日(土)10:15-11:15 第10会場
---	------------------------------

座長：生駒 美穂（新潟大学医歯学総合病院 腫瘍センター）

EL13 がん性疼痛ではオピオイド耐性、痛覚過敏は存在するか？
中川 貴之（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

合同シンポジウム

JSY1 緩和医療における放射線治療の役割	6月21日(金)15:45-17:15 第8会場
---------------------------------	-----------------------------

座長：高橋 健夫（埼玉医科大学総合医療センター 放射線腫瘍科）

JSY1-1 エビデンスに基づく緩和的放射線治療
原田 英幸（静岡がんセンター 放射線・陽子線治療センター）

JSY1-2 緩和的放射線治療に対するバリアと地域緩和ケア
阿部 泰之（旭川医科大学病院 緩和ケア診療部）

JSY1-3 チーム医療の中の緩和照射—緩和ケアと放射線治療の壁—
萬 篤憲（東京医療センター放射線科）

シンポジウム

SY1 メサドンは使いにくい？そのハードルを考える	6月21日(金)9:00-10:30 第1会場
-------------------------------------	----------------------------

座長：佐藤 哲観（静岡県立静岡がんセンター）

里見 絵理子（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、国立がん研究センター中央病院 地域医療連携部）

SY1-1 コンサルテーション型緩和ケアチームという立場から考える、メサドン使用の是非
阿部 博昭（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）

SY1-2 QT延長が怖い
香坂 俊（慶應義塾大学 循環器内科）

SY1-3 メサドンを積極的に使用している立場から、その実践について
小田 浩之（市立札幌病院 緩和ケア内科）

SY1-4 メサドン論議
松田 良信（市立芦屋病院 緩和ケア内科）

SY2 緩和ケアにおける安全と自律のジレンマ～患者・家族・医療者自身の思いとジレンマ～	6月21日(金)9:00-10:30 第3会場
---	----------------------------

座長：松岡 弘道（近畿大学医学部 内科学 心療内科部門/附属病院緩和ケアセンター）
關本 翌子（国立がん研究センター東病院）

SY2-1 緩和ケアにおける安全と自律のジレンマ～患者・家族・医療者自身の思いとジレンマ～
～緩和ケア病棟看護師長の立場としての安全と自律のジレンマ ケアの工夫～
岡山 幸子（宝塚市立病院 緩和ケア病棟）

SY2-2 リハビリテーション科医の立場からの自立的・自律的な生活と安全の支援
辻 哲也（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室）

SY2-3 緩和ケアにおける安全と自律のジレンマ（緩和ケア医の立場から）
林 章敏（聖路加国際大学 聖路加国際病院）

SY2-4 臨床倫理的観点からみた緩和ケアにおけるジレンマ
瀧本 禎之（東京大学大学院 医学系研究科医療倫理学、東京大学医学部医学部附属病院 心療内科、東京大学医学部附属病院 患者相談・臨床倫理センター）

SY3 心不全の緩和ケア～忘れてはいけない精神的サポートの必要性～	6月21日(金)9:00-10:30 第4会場
---	----------------------------

座長：柏木 秀行（飯塚病院 緩和ケア科）
伊藤 嘉規（名古屋市立大学病院）

SY3-1 循環器内科医の視点から考える心不全患者の精神的サポートの必要性
大石 醒悟（兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科）

SY3-2 「患者の語り」から見えてきた心不全患者の苦悩とそれを支える看護面談のあり方
中島 菜穂子（久留米大学病院 看護部）

SY3-3 心不全の緩和ケアにおける精神的サポート～心理療法士の立場から～
芥川 亘（独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター）

SY4 緩和ケアにおける地域連携～患者の希望を効果的につなぐ～	6月21日(金)9:00-10:30 第5会場
---	----------------------------

座長：宇都宮 宏子（在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス）
児玉 麻衣子（福井大学医学部附属病院）

SY4-1 一般病院内の腫瘍内科医からみた在宅療養
高野 利実（虎の門病院 臨床腫瘍科）

SY4-2 患者の希望を地域でしっかり支えるために～看護師の立場から～
宇野 さつき（医療法人社団 新国内科医院）

SY4-3 患者の希望をつないでいく地域連携～ソーシャルワーカーの立場から～
田村 里子（一般社団法人WITH 医療福祉実践研究所 がん緩和ケア部）

SY4-4 緩和ケアにおける地域包括ケアシステムを基盤とした地域連携の本質と社会資源の活用について
伊庭 裕美（あいケアマネジメントサービス）

SY4-5 患者からみた地域連携への期待と不安 ～「言うは易く、行うは難し」を変えるために～
桜井 なおみ（一般社団法人CSRプロジェクト、キャンサー・ソリューションズ株式会社）

SY5 終末期の自壊創の処置とケア～QOLに焦点をあてた多職種の創意工夫～	6月21日(金)9:00-10:30 第8会場
---	----------------------------

座長：佐藤 淳也（静岡県立静岡がんセンター 薬剤部）
岸野 恵（神戸大学医学部附属病院）

SY5-1 終末期の自壊創の処置とケア～QOLに焦点をあてた多職種の創意工夫～医師の立場から
茅根 義和（国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 緩和ケア内科）

SY5-2 薬剤の特徴とエビデンスから自壊創のケアを考える 一薬剤師として何ができるのか
志田 有里（神戸大学医学部附属病院 薬剤部）

SY5-3 家族と医療者が支える乳がん自壊創のケア～薬物療法とスキネクアと軟膏処置で上皮化した2事例～
飛澤 貴子（JA秋田厚生連 大曲厚生医療センター）

SY6 6月21日(金)9:00-10:30
緩和ケアにおける神経ブロックを普及させるには？ 第2会場

座長：服部 政治（医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 疼痛治療科 統括部長）
小杉 寿文（佐賀県医療センター 好生館）

SY6-1 いかにして患者・家族、そして医療者に神経ブロック療法の有効性をより実感させるか？
奥田 健太郎（大分大学医学部 麻酔科学講座、大分大学医学部附属病院 緩和ケアセンター）

SY6-2 神経ブロックを在宅緩和ケアの現場への普及のために：在宅緩和ケア医の活動
山岡 憲夫（医療法人カーサミア やまおか在宅クリニック）

SY6-3 神経ブロック普及の試み：北部九州・山口での広がり
小杉 寿文（佐賀県医療センター 好生館）

SY6-4 難治性がん疼痛に対し、当ホスピスで対応した神経ブロック・くも膜下鎮痛法施行例
前里 喜一（医療法人松籟会 河畔病院）

SY7 6月21日(金)10:45-12:15
臨終期、死亡確認、霊安室、お見送り～医療とケアの視点から～ 第1会場

座長：池永 昌之（淀川キリスト教病院）
前滝 栄子（京都大学医学部附属病院）

SY7-1 死亡を見届ける医師に必要な知識と技術
新城 拓也（しんじょう医院、神戸市立医療センター 中央市民病院）

SY7-2 ご逝去時ケア（エンゼルケア）の変遷と今、そしてエビデンス
林 奏り子（一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院）

SY7-3 遺族ケアにつながる家族のグリーフケア
広瀬 寛子（戸田中央総合病院）

SY7-4 これまでと、これからのお見送り
笹原 留似子（株式会社桜）

SY8 6月21日(金)10:45-12:15
Reducing burnout of palliative care clinicians: How to build an effective and compassionate interdisciplinary palliative care team?
これからの多職種連携のあり方～社会学と経営学の視点から～ 第9会場

座長：森 雅紀（聖隷三方原病院 緩和ケアチーム）
矢野 和美（国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所）

SY8-1 緩和ケア関連職の知識と協業
西川 真規子（法政大学 経営学部・大学院経営学研究所）

SY8-2 Reducing burnout of palliative care clinicians: How to build an effective and compassionate interdisciplinary palliative care team?
Arif Kamal (Associate Professor of Medicine, Business Administration and Population Health, Duke University)

SY8-3 スキルとしての経営学
柏木 秀行（飯塚病院 緩和ケア科）

SY9 6月21日(金)14:00-15:30
ネバーギブアップ症状緩和～臨床のコツ～ 第1会場

座長：金石 圭祐（JCHO東京新宿メディカルセンター）
田上 恵太（東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野）

SY9-1 鎮痛補助薬と手に手を取って、症状緩和が難しいがん疼痛に挑む！
田上 恵太（東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野）

マークは同時通訳です。

SY9-2 閉塞性黄疸による掻痒症に抗ヒスタミン薬が無効な時～次の一手は？～
吉川 善人（宝塚市立病院 緩和ケア内科）

SY9-3 困った時のもう一つの引き出し～緩和ケア病棟から得た学び～
熊野 晶文（岩本診療所 こうべ往診クリニック）

SY9-4 がんの神経障害性疼痛や抑うつ症状の改善には薬理学的根拠に基づいた適正な医療用麻薬の選択と患者の症状の合わせた鎮痛補助薬である抗うつ薬の処方重要である
寺田 忠徳（産業医科大学若松病院 緩和ケア・血液腫瘍科）

SY9-5 がんによる膀胱からの肉眼的血尿に対する緩和治療 ～ミョウバン水持続灌流療法と緩和的放射線治療～
北條 秀博（国立がん研究センター東病院 放射線治療科）

SY10 6月21日(金)14:00-15:30
単身者を看取る～人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインから～ 第2会場

座長：田村 里子（一般社団法人WITH 医療福祉実践研究所 がん緩和ケア部）
山田 麻記子（東京医科大学医学部附属病院）

SY10-1 “人生会議”で見えて来るもの～本人の揺れる思いを伴走しながら支える～
紅谷 浩之（オレンジホームケアクリニック）

SY10-2 単身者を看取る～人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインから～ 看護師の立場から
二見 典子（一般社団法人いいケア研究所・訪問看護ステーションBenny's）

SY10-3 診療所MSWからみた単身患者への支援
阿部 葉子（在宅ケアクリニック川岸町）

SY10-4 がん専門相談員による単身がん患者への意思決定支援
横原 貴子（島根大学医学部附属病院）

SY11 6月21日(金)14:00-15:30
チーム医療におけるコンサルテーションの極意 第3会場

座長：小山 富美子（神戸市看護大学）

SY11-1 コンサルテーション活動を振り返る
小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）

SY11-2 コンサルテーションスキル
岩田 健太郎（神戸大学大学院 医学研究科 感染治療学）

SY12 6月21日(金)14:00-15:30
がん医療を担う人材の育成におけるがんプロフェッショナル養成プランの役割 第7会場

座長：松岡 順治（岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究所、岡山大学病院 緩和支援医療科）
川崎 優子（兵庫県立大学 看護学部）

SY12-1 がんプロの歩みと今後の課題
松浦 成昭（大阪大学）

SY12-2 医師に対する緩和ケア教育における「がんプロ」の役割
三宅 智（東京医科大学大学院）

SY12-3 がんプロによってもたらされた看護がん教育の発展と広がり
内布 敦子（兵庫県立大学）

SY12-4 がんプロの多職種・多施設間連携による医療専門職の養成
市原 香織（大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻）

SY13 6月21日(金)14:00-15:30
一歩踏み出す心不全緩和ケア 第8会場

座長：宮崎 万友子（飯塚病院）
柴田 龍宏（久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門）

SY13-1 飯塚病院におけるハートサポートチームの立ち上げと実践 「一歩進めるために必要なものは何か」
大森 崇史（飯塚病院 連携医療・緩和ケア科）

SY13-2 急性期基幹病院における心不全緩和ケアの取り組み
関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）

SY13-3 心不全緩和ケアは分野・職種の間を越えなきゃ始まらない！
田中 奈緒子（兵庫県立姫路循環器病センター）

SY13-4 高齢心不全患者の在宅での緩和ケア
富山 美由紀（のぞみハートクリニック）

SY14
ELNEC-J 10年間の活動と今後の展望
第9会場
座長：田村 恵子（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻）
竹之内 沙弥香（京都大学医学部附属病院 倫理支援部）

SY14-1 ELNEC Japan Curricula
Betty Ferrell (Professor and Director Nursing Research and Education City of Hope National Medical Center)

SY14-2 ELNEC-Jコアカリキュラム 10年間の活動と今後の展望
笹原 朋代（東京女子医科大学 看護学部）

SY14-3 ELNEC-J高齢者カリキュラム指導者用ガイド開発の軌跡と今後の展望
西山 みどり（有馬温泉病院）

SY14-4 ELNEC-JCC活動の現状と今後への課題
宇都宮 明美（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻）

SY14-5 ELNEC-JPPC (Pediatric Palliative Care；小児緩和ケア) の開発への取り組み
松岡 真里（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻）

SY15
介護・福祉スタッフと共に取り組む非がん患者への在宅緩和ケア
～多職種連携推進とそれを進める政策動向～
第10会場
座長：福井 小紀子（大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻）
浜野 淳（筑波大学 医学医療系）

SY15-1 ターミナルケア加算の意義と実践者の責務
石山 麗子（国際医療福祉大学大学院）

SY15-2 多職種で支える非がん患者への在宅緩和ケアの現状と課題
渡辺 美奈子（株式会社在宅支援総合ケアサービス）

SY15-3 看取りをケアの延長として考える～人生という選択を支えるために～
中村 明澄（医療法人社団澄乃会 向日葵クリニック）

SY16
レスキューを頻回に使用する終末期がん患者の対応
第1会場
座長：上野 博司（京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部）
渡壁 晃子（彩都友誼会病院）

SY16-1 がん患者のケミカルコーピングを考える ～緩和ケア医の立場から～
谷口 彩乃（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室）

SY16-2 レスキューを頻回に使用する終末期がん患者の対応～緩和ケアチーム精神腫瘍医の立場より～
所 昭宏（国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 心療内科/支持・緩和療法チーム室）

SY16-3 心理社会スピリチュアルな苦痛軽減にオピオイドを用いてはならない理由はなにかな？
川村 和美（シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社、熊本大学教授システム研究センター 連携研究員）

SY16-4 レスキューを頻回に使用する終末期がん患者の対応 ～看護師の立場から～
前滝 栄子（京都大学医学部附属病院）

SY17
チャンスをつかめ：世界レベルの緩和ケア実践者になるためのnext step
第3会場
座長：森 雅紀（聖隷三方原病院 緩和ケアチーム）
岸野 恵（神戸大学医学部附属病院）

SY17-1 チャンスをつかめ その1「発表してみよう」
沖崎 歩（国立がん研究センター東病院）

SY17-2 チャンスをつかめ その2「書いてみよう」
石木 寛人（国立がん研究センター中央病院）

SY17-3 チャンスをつかめ その3「留学してみよう」
竹之内 沙弥香（京都大学医学部附属病院 倫理支援部）

SY18
地域住民へのがん・緩和ケアの実践
第7会場
座長：下山 理史（愛知県がんセンター）
坂井 さゆり（新潟大学大学院 保健学研究科 看護学分野、新潟大学工学部 工学科 人間支援感性科学プログラム）

SY18-1 「がんの在宅療養」プロジェクト：地域における緩和ケアと療養支援の普及に向けた取り組み
渡邊 清高（帝京大学医学部 内科学 腫瘍内科）

SY18-2 これでいいのだ！ Co-Minkan ～市民とともに行う 意思決定支援～
横山 太郎（医療法人社団兜徳会 横山医院 緩和・在宅クリニック、恵生会 竹山病院、育生会 横浜病院）

SY18-3 暮らしの保健室における「生と老と病と死のワークショップ」
西 智弘（川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター、一般社団法人プラスケア）

SY18-4 大切なことを大切に扱う場が作られるのか？
～地域でアドバンス・ケア・プランニングを考える取り組みの難しさや期待～
蔵本 浩一（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院、一般社団法人iACP）

SY19
施設看取りへの理解を深めよう～看取り支援の実践と緩和ケア展開の可能性～
第10会場
座長：福井 小紀子（大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻）
桑田 美代子（青梅慶友病院）

SY19-1 施設看取りが推進される政策動向と施設の種類と役割
福井 小紀子（大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻）

SY19-2 ケアミックスから在宅まで横断的に診察にあたる医師から見た高齢者の
エンドケア～ハッピー・エンド・オブ・ライフ・ケア～
田中 志子（医療法人大誠会 内田病院、社会福祉法人久仁会、群馬県認知症疾患医療センター 内田病院）

SY19-3 特養での看取りにおける看護職の役割と今後について
田口 将人（社会福祉法人和光会）

SY19-4 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア～最晩年の生を支える～
桑田 美代子（医療法人社団慶成会 青梅慶友病院）

SY20
看護ケアの最新エビデンスup to date
第1会場
座長：宮下 光令（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）
久山 幸恵（静岡県立静岡がんセンター）

SY20-1 看護ケアの最新エビデンスup to date～疼痛看護～
森川 みはる（東京慈恵会医科大学附属病院）

SY20-2 疼痛以外の身体症状に対する看護ケアのup to date
角甲 純（広島大学大学院 医系科学研究科）

SY20-3 精神症状に対する看護ケアの最新エビデンスup to date
清水 陽一（国立がん研究センター中央病院）

シンポジウム

シンポジウム

SY20-4 調査研究等の最新エビデンス
宮下 光令（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）

SY21 6月22日(土)8:30-10:00 第2会場
鎮痛剤が無効な難治性疼痛への対応(表現としての痛みはどう向き合うか)

座長：岡本 禎晃（市立芦屋病院）
細矢 美紀（国立がん研究センター中央病院）

SY21-1 「難儀な患者さんやなあ」と思ってしまったときの心の置き所
池永 昌之（淀川キリスト教病院）

SY21-2 チーム医療における難治性疼痛へのアプローチ ～精神科医の思考過程とその役割～
谷向 仁（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、京都大学医学部附属病院 緩和ケアセンター/緩和医療科）

SY21-3 鎮痛薬が効きにくい難治性疼痛への対応～痛みストレスとモチベーションのバランスを科学する～
葛巻 直子（星薬科大学 薬理学研究室、星薬科大学 先端生命科学研究所センター（L-StaR））

SY22 6月22日(土)8:30-10:00 第3会場
「暇をつぶす」を突き詰める～「暇」という苦痛を感じている、全ての患者のために～

座長：田上 恵太（東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野）
蓮尾 英明（関西医科大学 心療内科学講座）

SY22-1 「暇と退屈」を抱えた患者さんと「暇をつぶす」援助者に必要な視点とは ～「あくび指南」とパスカルに学ぶ～
神谷 浩平（山形県立中央病院 緩和医療科）

SY22-2 「暇」にみえる状態について考える：アパシーと呼ばれる神経心理学的症候からの考察
吉田 哲彦（ふくろうクリニック等々力）

SY22-3 “暇”という時間を考える 心理の立場から
堂谷 知香子（東京大学医学部附属病院 小児科）

SY23 6月22日(土)8:30-10:00 第4会場
がん術後痛への挑戦からがん性疼痛への期待

座長：山口 重樹（獨協医科大学医学部 麻酔科学講座）
住谷 昌彦（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）

SY23-1 アセトアミノフェンの新しい鎮痛機構
大橋 宣子（新潟大学医歯学総合病院 麻酔科）

SY23-2 遷延性術後痛－乳がん術後の場合
田口 志麻（広島大学病院 麻酔科）

SY23-3 メタボリックシンドローム関連サイトカインのレジスティンはがん開腹術後痛やがん性疼痛を増悪させる
穂積 淳（東京大学医学部附属病院）

SY23-4 抗血小板薬クロピドグレル内服は腹腔鏡下腹部手術における術後痛の重症化回避になるか
土田 陸平（東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター）

SY23-5 オピオイド鎮痛薬感受性とGABA transaminase遺伝子多型の関連性：がん性疼痛と術後創部痛の相違
横島 弥栄子（東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター）

SY24 6月22日(土)8:30-10:00 第6会場
あなたのポスターをポスターで終わらせない！論文執筆書き方ガイド

座長：笹原 朋代（東京女子医科大学 看護学部）
関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）

SY24-1 日本緩和医療学会誌（Palliative Care Research）の現状
関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）

SY24-2 私のための論文執筆マニュアル
落合 亮太（横浜市立大学医学部 看護学科）

SY24-3 症例報告の書き方 ～アイデアをかたちに 編集者からのメッセージ～
金石 圭祐（JCHO東京新宿メディカルセンター）

SY25 6月22日(土)8:30-10:00 第7会場
がん終末期の緩和ケアに使えるリハビリの技術とは！

座長：西山 菜々子（市立芦屋病院）
矢木 健太郎（社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院）

SY25-1 余命1か月のがん患者と家族を支える活きたりハビリに必要な視点
渡邊 紘章（小牧市民病院 緩和ケア科）

SY25-2 明日から使える、リハビリの技！～骨転移患者の痛みに対して～
上野 千沙（市立三次中央病院 リハビリテーション科）

SY25-3 がん終末期の緩和ケアに使えるリハビリの技術とは！
～浮腫による苦痛の緩和やADL・QOLの視点でのアプローチ～
田尻 寿子（静岡県立静岡がんセンター）

SY25-4 がん終末期における呼吸困難症状に使えるリハビリテーション専門職としての知識・技術と対話
～それぞれの人生を支援する～
藤吉 健史（市立砺波総合病院 総合リハビリテーションセンター 呼吸療法係）

SY26 6月22日(土)8:30-10:00 第8会場
救急・集中治療における緩和ケア

座長：柏木 秀行（飯塚病院 緩和ケア科）
真弓 俊彦（産業医科大学医学部 救急医学講座）

SY26-1 問題山積、高齢者救急・集中治療
真弓 俊彦（産業医科大学医学部 救急医学講座）

SY26-2 急性期病院こそ緩和ケア力が必要がある。
平岡 栄治（東京ベイ浦安市川医療センター 総合内科）

SY26-3 救急・集中治療で必要とされるコミュニケーションとケアー看護の立場から
佐竹 陽子（奈良県立医科大学医学部 看護学科）

SY26-4 救急×緩和ケアセミナーの試み
岡村 知直（飯塚病院 緩和ケア科）

SY27 6月22日(土)8:30-10:00 第9会場
困難事例の背景にある発達障害

座長：上村 恵一（独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター）
海津 未希子（慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 後期博士課程、みその生活支援クリニック）

SY27-1 「こだわり」が強い患者－臨床現場における困難事例を発達特性の観点から考える－
井上 真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）

SY27-2 「深刻味が伝わらない」患者－臨床現場における困難事例を発達障害、否認との鑑別の観点から考える
齋藤 円（市立ひらかた病院）

SY27-3 発達障害を有する患者とのコミュニケーション－患者医療者双方のために
吉田 沙蘭（東北大学大学院 教育学研究科）

SY28 6月22日(土)13:50-15:20 第2会場
ケアの現象をひもとく理論

座長：荒尾 晴恵（大阪大学大学院 医学系研究科）
寺町 芳子（大分大学医学部 看護学科 実践看護学講座）

SY28-1 Newman理論に導かれた看護実践
千崎 美登子（北里大学病院 看護部）

SY28-2 がん患者家族への家族エンパワーメントモデルの展開
藤田 佐和（高知県立大学）

SY28-3 症状マネジメントのための統合的アプローチ（IASM）による看護介入の実践
市原 香織（大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻）

SY29 在宅医療におけるがん疼痛マネジメント～苦痛なく在宅で過ごすために～	6月22日(土)13:50-15:20 第3会場
座長：里見 絵理子（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、国立がん研究センター中央病院 地域医療連携部） 宇野 さつき（医療法人社団 新国内科医院）	

SY29-1 在宅でのがん疼痛マネジメントの実際

首藤 真理子（みなとホームケアクリニック）

SY29-2 在宅緩和ケア充実診療所における緩和ケアチームによるがん疼痛マネジメント

児玉 佳之（こだま在宅内科緩和ケアクリニック 診療部）

SY29-3 在宅医療におけるがん疼痛マネジメント～多職種連携を薬剤師の立場から～

佐久間 詠理（医療法人社団淳友会 わたクリニック、医療法人社団淳友会 わたクリニック船堀、医療法人社団淳友会 わたホームクリニック）

SY29-4 患者・家族が苦痛なく住み慣れた地域で暮らせるために～訪問看護の立場から～

宇野 さつき（医療法人社団 新国内科医院）

SY30 エビデンスに基づくコミュニケーション：心的心声を聴く	6月22日(土)13:50-15:20 第8会場
--	-----------------------------

座長：二宮 ひとみ（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）
内富 庸介（国立がん研究センター中央病院）**SY30-1 心的心声を聴く：抗がん治療を積極的に勧められない状況について話し合う際の意向に関する研究**

梅澤 志乃（東邦大学医療センター大森病院）

SY30-2 コミュニケーション促進プログラムの紹介 ー開発から臨床適用までー

白井 由紀（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻）

SY30-3 コミュニケーション技術研修会の現状と参加した医師の変化

山田 祐（国際医療福祉大学病院）

SY30-4 エビデンスに基づくコミュニケーションガイドライン

秋月 伸哉（がん・感染症センター 都立駒込病院）

SY31 遺伝性腫瘍の全人的苦痛に緩和ケアは応えられるか？	6月22日(土)13:50-15:20 第9会場
--	-----------------------------

座長：吉田 健史（近畿大学病院 がんセンター 緩和ケアセンター・腫瘍内科兼務）
村上 好恵（東邦大学看護学部）**SY31-1 遺伝性腫瘍診療における多職種連携・精神的サポートの重要性**

富田 尚裕（兵庫医科大学 外科学講座、下部消化管外科）

SY31-2 遺伝医療によってもたらされる新たな全人的苦痛に対して医療者ができること

大川 恵（聖路加国際病院 看護部）

SY31-3 遺伝情報を知る患者と家族の選択に寄り添うために

鈴木 美慧（学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 遺伝診療部）

SY31-4 当院における遺伝診療体制の整備と緩和ケアにおける課題

三富 亜希（新潟県立がんセンター新潟病院）

SY32 せん妄の最新事情～日本発のエビデンス～	6月22日(土)15:30-17:00 第1会場
---	-----------------------------

座長：上村 恵一（独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター）
吉内 一浩（東京大学大学院 医学系研究科 ストレス防御・心身医学）**SY32-1 せん妄予防のエビデンス**

岸 泰宏（日本医科大学武蔵小杉病院 精神科）

SY32-2 リアルワールドでのせん妄治療：多施設前向き観察研究を実施して

前田 一石（ガラシア病院 ホスピス）

SY32-3 「がん患者におけるせん妄ガイドライン」の刊行と今後の方向性

谷向 仁（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、京都大学医学部附属病院 緩和ケアセンター/緩和医療科、日本サイコオンコロジー学会 ガイドライン策定委員会 せん妄小委員会）

SY32-4 臨床現場におけるせん妄のベストプラクティスとは？－せん妄対策研修会の実施経験から－

井上 真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）

SY33 しびれの集学的治療 ～根拠と経験、私はこうしている～	6月22日(土)15:30-17:00 第2会場
--	-----------------------------

座長：平山 泰生（東札幌病院 血液腫瘍科）
佐藤 淳也（静岡県立静岡がんセンター 薬剤部）**SY33-1 がん薬物療法に伴うしびれのマネジメント**

平山 泰生（東札幌病院 血液腫瘍科）

SY33-2 末梢神経障害で起こるしびれ・痛みへの対応 漢方製剤の利用とそれを支える科学的エビデンス

上園 保仁（国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野、国立がん研究センター中央病院 支持療法開発部門）

SY33-3 末梢神経障害対策の今後：冷却や運動等の非薬物介入のエビデンス

華井 明子（国立がん研究センター）

SY33-4 末梢神経障害がもたらす患者の日常生活に目を向けたアセスメントとケア

伊藤 奈央（岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター）

SY34 訴えが出ない患者の症状をどのように評価するか	6月22日(土)15:30-17:00 第3会場
--	-----------------------------

座長：余谷 暢之（国立成育医療研究センター 総合診療部 緩和ケア科）
桑田 美代子（青梅慶友病院）**SY34-1 言葉で伝えることが難しい認知症の人の症状アセスメント**

四垂 美保（医療法人社団慶成会 青梅慶友病院）

SY34-2 重症心身障害児の生活、遊びの場でのつながりから見る症状アセスメント

石浦 光世（関西医科大学看護学部 元大阪発達総合療育センター）

SY34-3 神経難病を有する人のTotal Painとマネジメントについて

高道 香織（国立病院機構 医王病院）

SY34-4 言葉で表現することが難しい乳幼児期の子どもの症状アセスメント

名古屋 祐子（宮城県立こども病院）

SY35 進行がんにおけるがんロコモへの対応	6月22日(土)15:30-17:00 第4会場
---	-----------------------------

座長：河野 博隆（帝京大学医学部 整形外科科学講座、ロコモ チャレンジ推進協議会 がんロコモWG）
高木 辰哉（順天堂大学 整形外科・リハビリテーション科・緩和ケアセンター）**SY35-1 がんロコモの概念と今後の展望**

森岡 秀夫（国立病院機構 東京医療センター 整形外科）

SY35-2 がんリハビリテーション治療とがんロコモ

酒井 良忠（神戸大学大学院 医学研究科 リハビリテーション機能回復学）

SY35-3 がんロコモのトータルケア

大島 和也（社会医療法人人生会 ベルランド総合病院）

SY35-4 がん看護から見たがんロコモ ～「動ける」を支えるケアを実践するために～

田平 芳子（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター）

SY35-5 緩和ケアから見たがんロコモ

岩瀬 哲（埼玉医科大学病院）

SY36 がんサバイバーシップを支える疼痛治療	6月22日(土)15:30-17:00 第8会場
座長：金井 昭文（北里大学医学部 新世紀医療開発センター・疼痛学） 間宮 敬子（信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門）	

SY36-1 米国のオピオイドクライシスから学ぶオピオイド鎮痛薬の適正使用
山口 重樹（獨協医科大学医学部 麻酔科学講座）

SY36-2 がんの長期サバイバーの慢性疼痛に対する治療指針～慢性疼痛治療ガイドラインを踏まえて～
上野 博司（京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部）

SY36-3 がんサバイバーシップのためのオピオイド鎮痛薬
住谷 昌彦（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）

SY37 緩和ケアと腫瘍学の統合(integration)～本当にできるの？インテグレーション～	6月22日(土)15:30-17:00 第9会場
座長：井上 彰（東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野） 長谷川 久巳（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院）	

SY37 緩和ケアと腫瘍学の統合 (integration) ～本当にできるの？インテグレーション～
采野 優（聖隷三方原病院、京都大学大学院 医学研究科）
坂下 明大（神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科 緩和ケアチーム）
西 智弘（川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター、一般社団法人プラスケア）
小原 弘之（川崎医科大学総合医療センター）
吉田 健史（近畿大学病院 がんセンター 緩和ケアセンター・腫瘍内科兼務）
長谷川 久巳（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院）

職種別フォーラム

FO1 地域連携を再考する～ソーシャルワークが繋ぐもの	6月21日(金)9:00-10:30 第7会場
座長：福地 智巴（静岡県立静岡がんセンター、Maggie's東京、WITH医療福祉実践研究所） 太田 桂子（島根大学医学部附属病院）	

FO1-1 がん患者さん・家族とともにつくる連携～がん相談支援センターでの専門性を越えた実践～
久住 真有美（慶應義塾大学病院）

FO1-2 小児がん医療におけるソーシャルワーカーの連携を考える
鈴木 彩（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター）

FO2 せん妄の薬学的管理の実際	6月22日(土)8:30-10:00 第10会場
座長：伊勢 雄也（日本医科大学付属病院 薬剤部） 塩川 満（聖隷横浜病院）	

FO2-1 JPOS-JASCC せん妄ガイドラインにおけるせん妄の薬学的管理について
奥山 徹（名古屋市立大学病院 緩和ケア部）

FO2-2 せん妄の薬学的管理：緩和薬物療法における向精神薬の適正使用
野田 幸裕（名城大学 薬学部 病態解析学Ⅰ、名古屋大学医学部附属病院 薬剤部）

FO2-3 精神科の常勤医師が不在の病院における薬剤師の役割
矢野 琢也（住友別子病院）

FO2-4 在宅療養患者におけるせん妄と保険薬剤師のかかわり
土井 真喜（株式会社メディカルシステムネットワーク）

FO3 入退院支援加算・入院時支援加算は緩和ケアの領域で効果的に活用されている！？ ～看護の質向上と看-看連携をめざして～	6月22日(土)13:50-15:20 第1会場
座長：藤原 由佳（神戸大学医学部附属病院） 細矢 美紀（国立がん研究センター中央病院）	

FO3-1 急性期病院における入退院支援の実際～「家に帰りたい」を支援する病棟看護師の役割～
小島 順子（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター）

FO3-2 在宅で患者を病院に送る立場・退院を受ける立場から、地域包括ケアをふりかえる
船越 政江（医療法人社団林山朝日診療所 訪問看護ステーションわたぼうし）

FO3-3 入退院支援の取り組み 病棟と在宅をつなぐ立場から
塩見 美幸（愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター）

委員会企画

CM1 「専門的緩和ケア」の質の評価について、何を目的に、どのように実施していくべきか	6月21日(金)9:00-10:30 第6会場
座長：加藤 雅志（国立がん研究センター） 永山 淳（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 緩和医療内科）	

CM1-1 専門的緩和ケアの質の評価の方向性と、2019年度緩和ケアチーム登録（2018年度チーム活動）の速報
加藤 雅志（国立がん研究センター がん対策情報センター）

CM1-2 緩和ケアチームを対象とした診療プロセスの質を改善するための取り組み～緩和ケアチームセルフチェックプログラム（2018年度）報告～
坂下 明大（神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター / 緩和支援治療科、日本緩和医療学会 専門的・横断的緩和ケア推進委員会 緩和ケアチーム自施設評価WPG）

CM1-3 遺族を対象とする人生の最終段階における医療の質の評価：全国実態調査
中澤 葉宇子（国立がん研究センター がん対策情報センター）

CM1-4 専門的緩和ケアの質の評価の国内外の現状と学会としての取り組み
宮下 光令（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）

CM2 苦痛と鎮静に関する手引きを読み解く	6月21日(金)15:45-17:15 第2会場
座長：小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）	

CM2-1 「がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方の手引き 2018年版」
・・・「ガイドライン」ではなく「手引き」であること理由
中島 信久（琉球大学医学部附属病院 地域医療部 緩和ケアセンター）

CM2-2 「鎮静の手引き2018年版」作成経緯と今後の課題
池永 昌之（淀川キリスト教病院）

CM3 Latest topics and future of palliative care in Japan, Korea, Taiwan, and United States: Next steps toward international collaborations	6月22日(土)13:50-15:20 第4会場
座長：森 雅紀（聖隷三方原病院 緩和ケアチーム） 青山 真帆（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）	

CM3-1 Latest topics and future direction of palliative medicine in Japan
浜野 淳（筑波大学 医学医療系）

CM3-2 Latest topics and future of palliative care in Korea
Seoyoung Seo (Clinical instructor, Medical Oncology
Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul, Korea)

CM3-3 Transforming Hospice Palliative Care Movement in Taiwan - from 1990 to 2019
 Enoch Yuen-Liang Lai (Professor of MacKay Medical College, Taiwan
 Clinical Oncologist and Specialist Palliative Medicine of MacKay Memorial Hospital
 Senior Commissioner, Superintendent Office, MacKay Memorial Hospital
 Council member of Asia Pacific Hospice Network (APHN))

CM3-4 The Current State and Future Directions of Palliative Care in the United States
 Arif Kamal (Associate Professor of Medicine, Business Administration and Population Health,
 Duke University)

CM4 6月22日(土)13:50-15:20 第7会場
男女共同参画推進と緩和医療従事者のワーク&ライフバランス
 座長：所 昭宏 (国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 心療内科/支持・緩和療法チーム室)
 有賀 悦子 (帝京大学医学部 緩和医療学講座)

CM4-1 男女共同参画推進と緩和医療従事者のワーク&ライフバランス～日本緩和医療学会での取り組み～
 所 昭宏 (国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 心療内科/支持・緩和療法チーム室)

CM4-2 大学の緩和医療学教室における男女共同参画の取り組み
 ～女性医師が希望通りに働き続けられる環境作りを目指して～
 上野 博司 (京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部)

CM4-3 がん専門病院における看護士に対する取り組み
 関本 翠子 (国立がん研究センター東病院)

CM4-4 薬剤師が緩和ケアを継続していくために～NHO PADと日本緩和医療学会での繋がり～
 八本 久仁子 (独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター 薬剤部)

CM5 6月22日(土)15:30-17:00 第7会場
緩和医療に必要な医療安全の知識
 座長：高瀬 久光 (日本医科大学多摩永山病院 薬剤部)
 伊藤 優子 (川崎市立多摩病院 (指定管理者)学校法人 聖マリアンナ医科大学))

CM5-1 緩和医療で問題となる医療安全
 中尾 正寿 (NTT東日本関東病院)

CM5-2 身につけてほしい、医療安全の基礎知識
 中村 陽一 (東邦大学医療センター大森病院 緩和ケアセンター、東邦大学医学部 臨床腫瘍学講座、東邦大学医学部 医学教育センター)

ランチョンセミナー

LS1 6月21日(金)12:30-13:30 第1会場
放射線によるがん医療の今
 共催：エレクトラ株式会社/オーグメニクス株式会社/株式会社千代田テクノル/東洋メディック株式会社/日本アキュレイト株式会社/株式会社バリアンメディカルシステムズ/株式会社日立製作所/ブレインラボ株式会社/ユーロメディテック株式会社
 座長：近藤 まゆみ (北里大学病院 看護部 がん看護専門看護師)

LS1-1 知られざる知っておくべき緩和的放射線治療
 ～緩和に関わるすべてのスタッフにお伝えしたい放射線治療の進歩と課題
 大西 洋 (山梨大学医学部 放射線医学講座 教授)

LS1-2 緩和ケアにおける放射線治療と看護
 後藤 志保 (がん研究会有明病院 放射線治療部・画像診断センター (がん看護専門看護師) 副看護師長)

LS2 6月21日(金)12:30-13:30 第2会場
がん疼痛治療～オピオイドの副作用対策～
 共催：塩野義製薬株式会社
 座長：森田 達也 (聖隷三方原病院 副院長・緩和支援治療科 部長)

LS2 **がん疼痛治療～オピオイドの副作用対策～**
 里見 絵理子 (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科長)

LS3 6月21日(金)12:30-13:30 第3会場
アセトアミノフェンの作用機序を再考する
 共催：あゆみ製薬株式会社
 座長：金井 昭文 (北里大学医学部 新世紀医療開発センター・疼痛学 教授)

LS3 **アセトアミノフェンの作用機序を再考する**
 河野 達郎 (東北医科薬科大学 麻酔科学 教授)

LS4 6月21日(金)12:30-13:30 第4会場
認知症・せん妄への多職種アプローチを時系列で整理する ～明日から使える実践的知識～
急性期病院における認知症高齢がん患者のアセスメントと看護ケア～気づいて・見分けて・ケアして・つなぐ～
 共催：中外製薬株式会社
 座長：谷向 仁 (京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、京都大学医学部附属病院 緩和ケアセンター/緩和医療科)

LS4-1 認知症・せん妄への多職種アプローチを時系列で整理する ～明日から使える実践的知識～
 井上 真一郎 (岡山大学病院 精神科神経科)

LS4-2 「急性期病院における認知症高齢がん患者のアセスメントと看護ケア」～気づいて・見分けて・ケアして・つなぐ～
 木野 美和子 (筑波メディカルセンター リエゾン精神看護専門看護師)

LS5 6月21日(金)12:30-13:30 第5会場
QOL向上に向けた乳がん術後ケアと指導 ～エクオールの可能性～
 共催：大塚製薬株式会社
 座長：津川 浩一郎 (聖マリアンナ医科大学 外科学 (乳腺・内分泌外科) 教授)

LS5 **QOL向上に向けた乳がん術後ケアと指導 ～エクオールの可能性～**
 土井 卓子 (医療法人湘和会 湘南記念病院 乳がんセンター センター長)

LS6 6月21日(金)12:30-13:30 第9会場
がん疼痛治療において難渋するときのオピオイド鎮痛薬の選択
 共催：テルモ株式会社/帝國製薬株式会社
 座長：多田 龍 竜平 (大阪市立総合医療センター 緩和医療科 部長)

LS6-1 緩和ケアチームと診療所の痛みの治療の連携 ～メサドンによる疼痛治療の情報共有のあり方～
 的場 元弘 (青森県立中央病院 副院長・緩和医療科 部長)

LS6-2 メサドンにスイッチング その時どうする？～地域につなげる薬剤情報とビットフォール～
 龍 恵美 (長崎大学病院 薬剤部 麻薬管理室 室長)

LS7 6月21日(金)12:30-13:30 第10会場
広がるオピオイドの選択肢 ～ヒドロモルフォンをどう位置付けるか？～
 共催：第一三共株式会社
 座長：木澤 義之 (神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科 特命教授)

LS7 **広がるオピオイドの選択肢 ～ヒドロモルフォンをどう位置付けるか？～**
 余宮 きのみ (埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 部長)

LS8 6月22日(土)11:45-12:45
がん疼痛治療の秘訣 ータバペンタドールの魅力に迫るー 第1会場
 共催：ムンディファーマ株式会社
 座長：森田 達也（聖隷三方原病院 副院長・緩和和支持治療科 部長）

LS8 **がん疼痛治療の秘訣 ータバペンタドールの魅力に迫るー**
 大坂 巖（社会医療法人石川記念会 HITO病院 緩和ケア内科 統括部長）

LS9 6月22日(土)11:45-12:45
患者ニーズに合わせたがん疼痛治療 第2会場
 共催：久光製薬株式会社/協和発酵キリン株式会社
 座長：木澤 義之（神戸大学医学部附属病院 緩和和支持治療科 特命教授）

LS9-1 **突出痛の"出方"に沿った対応法を考える**
 田上 恵太（東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野 助教）

LS9-2 **病態とニードから考える持続痛の対応**
 久永 貴之（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科 診療科長・緩和ケアセンター長）

LS10 6月22日(土)11:45-12:45
一人一人のがん患者さんが、「自分らしい人生」を謳歌できる世界を作る 第3会場
 共催：リーズンホワイ株式会社/LAVENDER RING
 座長：堀 謙輔（独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院 産婦人科）

LS10-1 **一人一人のがん患者さんが、「自分らしい人生」を謳歌出来る世界を作る**
 御園生 泰明（LAVENDER RING）

LS10-2 **一人一人のがん患者さんが、「自分らしい人生」を謳歌出来る世界を作る**
 柳澤 史乃（リーズンホワイ株式会社）

LS11 6月22日(土)11:45-12:45
がん患者に使う漢方薬～がん疼痛治療医の実践～ 第4会場
 共催：株式会社ツムラ
 座長：山口 重樹（獨協医科大学医学部 麻酔科学講座 主任教授）

LS11 **がん患者に使う漢方薬～がん疼痛治療医の実践～**
 服部 政治（医療法人沖繩徳洲会 中部徳洲会病院 疼痛治療科 統括部長）

LS12 6月22日(土)11:45-12:45
暮らしの保健室をアップデートせよ ～抗がん剤の支持療法×コミュニティナース×社会的処方～ 第5会場
 共催：東和薬品株式会社
 座長：横山 太郎（医療法人社団兜徳会 横山医院 緩和・在宅クリニック）

LS12 **暮らしの保健室をアップデートせよ～抗がん剤の支持療法×コミュニティナース×社会的処方～**
 西 智弘（川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター 腫瘍内科・緩和ケア内科、一般社団法人プラスケア 代表理事）

LS13 6月22日(土)11:45-12:45
緩和ケアに必要ながん性皮膚潰瘍ケア ～その治療意義とケアのポイント～ 第8会場
 共催：マルホ株式会社
 座長：細川 豊史（洛和会 丸太町病院 院長）

LS13-1 **がん性皮膚潰瘍の現状とその治療意義**
 志茂 新（聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科 助教）

LS13-2 **がん患者のトータルペインを増強させない、がん性皮膚潰瘍の管理**
 祖父江 正代（JA愛知厚生連 江南厚生病院 緩和ケアセンター がん専門看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師）

LS14 6月22日(土)11:45-12:45
悪性腹水への取り組み～腹水濾過濃縮再静注法(CART)を中心に 第9会場
 共催：旭化成メディカル株式会社
 座長：橋口 さおり（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター長）

LS14-1 **悪性腹水に対するCART：位置づけを明確にするために**
 横道 直佑（聖隷三方原病院 緩和和支持治療科 医長）

LS14-2 **緩和医療における腹水濾過濃縮再静注法の展開**
 川原 玲子（がん研有明病院 緩和治療科 部長）

LS15 6月22日(土)11:45-12:45
がん緩和医療と人参養榮湯 第10会場
 共催：クラシエ薬品株式会社
 座長：所 昭宏（国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 心療内科/支持・緩和療法チーム室）

LS15 **がん緩和医療と人参養榮湯**
 乾 明夫（鹿児島大学大学院 歯医学総合研究科 漢方薬理学講座）

スイーツセミナー

SW1 6月21日(金)14:00-15:00
医療用麻薬の自己管理を進めるために 第5会場
 共催：協和発酵キリン株式会社
 座長：的場 元弘（青森県立中央病院 副院長）

SW1-1 **医療用麻薬の自己管理～自分の痛みを知ることは安全・安楽な日常生活への第一歩～**
 大串 祐美子（医療法人 東札幌病院 看護部長 がん化学療法看護認定看護師）

SW1-2 **医療用麻薬自己管理の現状と課題解決に向けて**
 鍛冶園 誠（岡山大学病院 薬剤部 主任、がん専門薬剤師・緩和薬物療法認定薬剤師）